



九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第28号

2010年7月発行・東久留米「九条の会」
代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel 042-473-9489
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>

みんなで、やさしく、楽しく、憲法9条を守り、生かす

長編アニメ

「白旗の少女琉子」

のこと

アニメ映画監督 出崎哲

(南沢在住)

今、沖縄の基地移転の話で民
主党政府の首相が変わるほどの
盛り上がりを見せています。今
から20年ほど前に「白旗の少女
琉子」というアニメの劇場映画
を80分位で作りました。

この作品は、国内で唯一戦場
になった沖縄がどのような状況
になったのか、

“命どう宝”の言葉を持つ島
民がどのように命を守れたの
か、守れなかったのかを描いた
のですが、調べていて解っては
いても、親子で見る映画にする
のと80分という長さの問題で、
映画の中に入れられなかった大

事な事が多々あったのです。

映画本編は主人公たちが米軍
に接収された所で終わっている
ので、日本軍の指揮下の酷い状
況を訴えたり伝えたりは出来て
も、軍政府(米軍)の下での本
島の真中にドッカと居坐った基
地等から受けた島民たちの苦し
みまでは描けなかったのです。
わずかにエンディングのバック
に基地の写真を使えたのと、米
兵と沖縄女性の間を生を受けた
ロック歌手、メデューサのマ
リーにエンディングテーマ曲
「ウィズ・アウト・ラヴ」を歌っ
てもらったのがやっとでした。

何故そうしたのかというと、

本編で描いた内容とエンディン
グの米軍基地との関係は、今日
の沖縄を考える上でどちらも落
としてはならない重要な二つの
要素だと考えたからです。

この監督を任されたヤマトン
チューの私は、たとえ不十分で

もこのことを観客の皆さまに伝
えたかったのです。

なお、私の居住地での南部9
条を守る会の活動の一つとして
「白旗の少女琉子」の上映会と
講演もしくは討論会を今年のう
ちに実現してみたいと思いま
す。

2010年7月



地域・職域9条の会の取り組み

東久留米保育9条の会 3周年記念

6月6日(日) 商工会館にて、子育てサークルぬくぬくだつこランド主幹の頭金(とうきん)・多絵さんをゲストに迎え「親子で遊ぼう」の会を行いました。オープニングは、こま名人のこま回し。続いて、保母歌サークルの皆さんの素敵な歌声。保育9条の会の呼びかけ人の嶋先生からは、パンフレットに寄せてもらった絵品作家・田畑精一先生の「おおきなカブ」のお話も引用されて、「9条」を守る大切さが語られました。

頭金多絵さんのコーナーが始まる頃には、親子で手をつないだり抱っこして歌や踊りを楽しみ、紙コップとビニール袋を使ったよく飛ぶロケットも作りました。頭金さんの呼びかけで、おとなたちが向かい合って両手をてんでんに振っている間



を、子ども達がぶつからずに通り抜ける遊びもありました。不思議と通る人に手はぶつからないのです。「人は本来、人を傷つけたくないと思って生まれて来た。」と頭金さんの遊びの中から教えてくれました。親子遊びの後には、「ピースブック」という絵本の素敵な読み聞かせで幕を閉めました。「平和・命・こども」を思い親子で笑い合う、ほんわかとしたあたたかい3周年のお祝いの会となりました。(代表・脇田照美)

西部9条の会

「平和のつくり方」

6月12日(土) 14時よりわくわく健康プラザにて、西部9条の会の連続講座「平和のつくり方」第8回を開催しました。

第8回のテーマは、「戦争と教育」(戦後編)でおこない、日本国憲法制定とともに、戦後の民主教育の礎となった「教育基本法」の制定とその内容、そして戦前教育に戻そうとする逆流の動向、東京都で行っている教育への反動的な介入などについてのレポートを参加者で話しあいました。

連続講座「平和のつくりかた」は、次回最終回(第9回)のテーマ「平和探求のながれ」を行い、平和をねがう人々がつくりあげてきた人類の創意「9条の思想的原点」や「世界では主流となっている平和探求」の実態をみて、今後の「平和」「9条」をまもる運動の確信にしていきたいと思えます。(大野)

東部9条の会

「憲法と日米安保条約」

講師 塚田先生予定

8月8日

お問い合わせ

478-8225 (糸魚川)

南部9条の会

鎌田さとしの著書を

テキストにして

語り合い

お問い合わせ

475-3290 (高橋)

キリスト者9条の会

7月19日(月) 午後2:00～

成美教育会館ホール

「日本国憲法とその将来」

発足4周年講演会

講師・山形県キリスト教独立

学園元校長 武裕一郎氏

連絡先: 473-4496 (岸)



志願兵で入隊して

— 広島での被爆者救助 —

知野茂夫（浅間町）

私は、18歳の時、志願兵として

海軍に入りました。一般的には、20歳で徴兵ですが、志願兵は18歳から入隊できます。山口県と広島県の境にある呉の大竹海軍潜水学校で訓練を受けました。訓練は海軍兵学校（大学出か成績優秀な者が入る）の者から受けますが、17、18人のグループのうち誰か一人でも失敗などすると全員が制裁を受けました。「柱に両手で掴まって踏ん張れ」と命令され、直径6、7cmもある精神棒（樫の木でできた丸太ん棒）で、思いつきりバットを振るように尻を打ち付けられました。尻は真っ青なあざができて腫れ上がりました。

訓練を終了し、8月6日の出

発の日となり、潜水艦に乗って、「出発」の号令が出るのを待っていました。突然、潜水艦が異常に大きな衝撃を受け、大きく揺れました。「何だろう!？」。後で「原爆」という新型の爆弾が落とされたことを知りました。

潜水艦の出発は延期となり、翌日、広島がひどくやられたというところで、広島市内へ被害者救助を命令され、広島に行きました。広島駅の降り、ホームに立ったときびびくりしました。なんと、見渡す限り広島町の町は何もなくなり破壊され、平らになっていて、遠く瀬戸内海の船まで見えるのです。

被爆した人たちはみな両目がぐしゃぐしゃにやられています。た。ゴーという飛行機の音がしたとおもったら、ものすごい光がピカッと光ったのです。飛行機の音でハッと見上げたと思ったら閃光で目を焼かれたのです。身体も光があたったところはみ

んな焼けただれていました。ひどいもんですよ。みんな爆弾の名前が分からないからピカドンと言っていました。防空壕からやつと這い出してきて、虫の息で「兵隊さん、きつと敵をとつてくさいね」と繰り返し返す人もいました。両腕を持つとすると持ったところからズルッと皮膚がむけてくるのです。まったくむごい、悲惨なものですよ。こんな救助とか作業が3ヶ月も続きました。本当に恐ろしい光景で、経験した人でなければ分からないと思います。

戦争は、何もかも無くなり、平らに潰されてしまう。いまの核兵器は、その時のものよりずっと威力が大きくなっていますから、一つ落とされたら東京なんか無くなってしまう。ぜつたいに、二度と戦争は起こしてはいけません。

2010年3月

《平和を考える本》



『彼岸花はきつねのかんざし』
朽木 祥・著（学習研究社）

一九四五年の春から夏にかけての物語。戦局も厳しくなつて警戒警報が毎日のように鳴っていたが、小学四年の也子（かのこ）は、祖母や母、手伝いのねえやんに囲まれて屈託なく暮らしている。

そんな日々、裏の竹やぶで、言葉話を不思議な子ぎつねと友達になった。何かほしいものはないか、と聞かれて也子が答えたのは、「きつねの花嫁のかんざしに合うような白い彼岸花」。

それから、めったにない白い彼岸花を探して、子ぎつねはあちらこちら走り回っているのだろう。会うこともないままに広島は原爆を投下され、それまでの何もかもが崩れ果てた……。

作者自身、被爆二世である。

東久留米 in 2010

平和への想いで 市民が手をつなぐ

市民朗読劇の会

ホテルマシキナ

ーよみがえりの島・波照間ー
「沖縄・三線」ミニコンサート

8/7(土) 13時～ 市民プラザホール

(連絡先: 春田 473-0769)

ピースの木 Tシャツ100人展

8/16(月)～20(金) スペース 105

(連絡先: 森田 090-9333-1810)

夏の 平和 行事

「東久留米九条の会」5周年

品川正治さんのお話

「戦争・人間そして憲法九条」

9/25(土) 14時～ 生涯学習センター

(連絡先: 皆川 421-0733)

「いのちの山河」上映実行委

日本の青空Ⅱ

「いのちの山河」

7/31(土) 10時・14時・18時30分

生涯学習センターホール

(連絡先: 東京土建 473-8751)

「アンダンテ」上映実行委員会

映画「アンダンテ～稲の旋律～」

9/26(日) 10時・14時 生涯学習センター

(連絡先: 塩田 475-0712)

東久留米の教科書を考える会

「未来をひらく歴史」講座

塚田 勲 先生

7/25(日) 午後 生涯学習センター

(連絡先: 秋葉 473-5265)

反核平和市民実行委員会

7・8月の行事

7/25(日) 11:30～ 平和行進

8/7(土)～8(日) 原爆・平和写真展

市民プラザ・屋内ひろば

(連絡先: 倉本 473-4238)

キリスト者九条の会

「憲法九条と日本の将来」

7/19(月) 14時～ 成美会館

(連絡先: 岸 473-4496)

東久留米

市民の平和行事をつなぐ会 (連絡先: 大野 475-9359)